

令和6年4月26日

二本木小学校保護者の皆様

安城市立二本木小学校長 松永 博司

本校の通学かばんの自由化（ランドセル以外も「可」の明示）について（お知らせ）

穀雨の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、本校ではこれまで、通学時での学習用具・携行品の運搬には、多くの児童が通例としてランドセルを用いていました。猛暑時は「別のかばんも可」として文書を発出していましたが、通年でのランドセル以外の利用可否について、学校としてはこれまでも認めているものの、文書として明確に発出してはおりませんでした。

そこで本校では、保護者の目線に立って協議し、以下の観点から「通学かばんはランドセルを含め、各家庭でのご判断で対応していただくこと」とし、「通年にわたり通学用かばんの形状は自由」と文書で明示します。ご承知おきください。

【過重を避けるための配慮】

- ・文部科学省平成30年9月6日付事務連絡「児童生徒の携行品に係る配慮について」に基づき学用品が過重とならないよう配慮が求められています。本校も、児童に持たせる荷物が過重とならないよう配慮していきませんが、かばん自体が重くならないようご家庭でご配慮ください。

【子どもを第一に考えたかばんの性能の選択】

- ・かばんの軽量化を図れば過重は解消され、安全性を重視した色・材質・運び方等に配慮すれば、交通安全や防犯にも資することができます。雨天時に教材が濡れない防水性への配慮や、破損故障等がないような頑丈さも大切です。ランドセルも含め、子どもを第一に考えて、どんな機能が必要となるか検討していただければ幸いです。

【購入費等を配慮した選択肢の拡大】

- ・本校ではSDGs目標のひとつに、「家計に対して配慮した教育計画を進める」と掲げています。かばんを各家庭の選択とすることで、購入の選択肢は家庭に委ねられ、重視する視点や形状・材質の選択が多様となり、あわせて価格帯の選択も自由となります。従来かばんに充当していた家計等を、他の関心の高い教育分野に充てることも可能となります。

ただし、本校のロッカーの形状や指導上の課題から以下の点についてご配慮ください。

【かばん選定の際の遵守事項】

<児童用ロッカーに入るサイズの厳守>

- かばんは、他の道具類とともに児童用ロッカーに入れます。そのため、ランドセルと同サイズ（一般的には縦22cm×横32cm×奥行35cm）前後を推奨します。サイズが大きいと入りません。
※実際のロッカー径は縦24cm×横38cm×奥行37cmです。奥行が大きいと滑り落ちる場合があります。

<かばんに着用するものへの注意>

- すぐ使える場所への防犯ブザーの装着をお願いします。また、氏名（直接でも名札でも可）を必ず書き、誰の持ち物かわかるようにしてください。
- キーホルダー等の着用は紛失や友達同士のトラブルのもとになります。お控えください。

（ 問い合わせ先 安城市立二本木小学校 教頭 磯村千加子 TEL0566-76-4449 ）